

# 第5回 仙北市政策検証市民委員会 次第

日時：平成24年7月6日（金）  
13：30～

場所：仙北市役所田沢湖庁舎  
第1会議室

1. 開 会
2. 委員長あいさつ（旧・新）
3. 案 件
  - ①第4回委員会での決定事項の確認
  - ②分野別政策検証
    - I 「徹底的な行財政改革を断行します」（約束5）
    - II 「4年間で実現します」（約束8）
    - III 「4年間で所得10%以上増やします」（約束2）
  - ③次回委員会の日程と検証対象の確認
4. 閉 会



## 第4回仙北市政策検証市民委員会の決定事項

- 日 時 平成24年6月21日（木） 13時30分～16時30分
- 会 場 仙北市役所田沢湖庁舎 第1会議室
- 出席者 委員 田口委員長・佐々木委員・堺委員・草薙委員・牧田委員・佐藤委員 6名  
市 倉橋総務部長・佐藤総務部次長兼企画政策課長  
田中総務部次長兼財政課長・運藤総務課長・門脇財政課課長補佐  
事務局 企画政策課 戸澤参事 大澤政策推進係長 柏谷政策推進係主事 8名
- 欠席委員 大和田副委員長・橋本委員・西村委員・藤村委員

### 【決定事項】

1. 田口委員長の委員長辞任を了承し、新たな委員長選出については、副委員長からの繰り上げや他委員への打診等も含め事務局と相談しながら次回まで決定する。
2. 検証委員会の資料は出来るだけ事前に配布する。
3. 各回の委員会で決定した事項は、出来れば委員会終了後時間があまり経過しないうちに配布する。
4. 今日配布した第1回から3回までの会議録については、次回委員会まで各委員が内容確認のうえ修正等があれば事務局に報告する。
5. 次回の第5回委員会は、7月6日（金）午後1時30分から田沢湖庁舎とする。  
検証テーマ  
約束⑤「徹底的な行財政改革を断行します」28, 29, 30  
約束⑧「4年間で実現します」の39, 40  
約束②「4年間で所得10%以上増やします」12, 14 全7項目

## 仙北市政策検証市民委員会 検証結果一覧

約束⑤「徹底的な行財政改革を断行します」 平成24年6月21日委員会

アクションプラン25【市役所建設の凍結・再検討】

委員名	評点	コメント
田口委員長	2	情報が充分市民に公開されておらず市民の中で充分議論し尽くされていない。かたちのうえでは進んでいるような感じはするが実態として充分議論されていない。
佐々木委員	2.5	検討委員会を作って結論を出し、内部の部長等会議も開いていることからすれば評価出来るが、実際は情報開示もない、市民は市庁舎がどうなるのかと思っている、職員や議員の庁舎であっては困るという意見が非常に多い。利用しやすい一体型の庁舎を作りますというコンセプトが全然発信されていない。
堺委員	3	行政は継続なりと言いながら、市長が替わるたびに市民をダシに使って、市民の意見を聴きましたと言って別のものに切り替えて時間だけがかかっているのは不条理である。ただ規模とか場所とか予算だけを考えた市役所を作るという方針はダメである。
牧田委員	2	ここまでまとめ上げたその努力については評価したいが、限りなく多くの市民から賛同されることが望まれることが課題である。きめ細かい説明と論議がないと多くの市民に賛同されることは生み出せないし、自分達の役所だという認識は生まれにくい。
佐藤委員	2	市民等を委員とする庁舎検討委員会を設置して提言をまとめているので評価するが、情報が市民にもっと公開されるべきである。もう少し議論が必要、コストの面等でもかなり問題がある
草薙委員	1	コメントなし

※平均点 2.08

約束⑤「徹底的な行財政改革を断行します」 平成24年6月21日委員会

アクションプラン26【新行財政改革チームの設置】

委員名	評点	コメント
田口委員長	2	行政改革という点では充分出来ていない。県内類似他市と比較すると実績として厳しい状況である。
佐々木委員	4	良くやっている。民営化とチームを作って実際に稼働している。
堺委員	4	基本的には良くやっている。減点は色々なことに対してもう少し工夫する必要があるということ、やり方の中で不備な点は結構あるので今後の課題として残してほしい。

牧田委員	3	佐藤委員と同様
佐藤委員	3	福祉施設の民営化等、必要なことは必要に応じて進められていることが評価出来る。チーム設置は目的として達成されているが、具体的にまだまだ費用対効果や効率という面から考えると努力していける部分がかかなり多い。
草薨委員	2	行政改革という字句が出てくるが、私達市民ではどこにどのようなかたちの中でどうしてどの部分がどう変わっているということが見えてこない。

※平均点 3

約束⑤「徹底的な行財政改革を断行します」 平成24年6月21日委員会

アクションプラン27【職員給与・特別職報酬等の見直し】

委員名	評点	コメント
田口委員長	1.5	賃金が人事院や人事委員会の勧告に準拠するのは、ストライキ権がない等労働基本権に制約がある為との説明だが、勧告は民間賃金と同等水準となるようにするのが大原則あって、勧告に準拠することによって市内の民間賃金と大きな開きがでるのは釈然としない。
佐々木委員	2	特別職の報酬を下げるのが妥当なのか本当に良いのかと思う。片方では人事院勧告という武器があって、逆に仙北市は市長が職員にスト権を与えて給与削減まで踏み込めたらすごいと思う。
堺委員	2	市民感情からすると職員数も多い、給料も高い、一般人の感覚からすればこの程度の取り組みで職員給与・特別職報酬等の見直しをやったという評価にはならない。トップの意向があれば下げることが可能ではないか。
牧田委員	2	人事院勧告は大事だと思うし、それに従ってやるしかないとなると、外部評価にあるように職員数と給与総額ともに痛みを伴う改革の断行が必要で、これを実践するしかないと思う。
佐藤委員	2	職員の数を減らしていくことしか考えていないが、減った時に仕事量が減ることはないのか、そこまで考えているのか不安である。そういう部分の将来ビジョンもはっきりしていないと不安である。
草薨委員	2	コメントなし

※平均点 1.91